

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月7日

上場会社名 横河電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6841 URL <http://www.yokogawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 海堀 周造
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 吉川 光 (TEL) (0422)52-5530
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	233,424	2.1	9,350	94.9	6,276	244.4	1,215	-
23年3月期第3四半期	228,584	4.3	4,797	-	1,822	-	△4,779	-

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △6,111百万円 (-%) 23年3月期第3四半期 △12,764百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.72	-
23年3月期第3四半期	△18.56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	342,183	139,187	39.6
23年3月期	361,233	145,232	39.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 135,500百万円 23年3月期 141,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期 (予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 修正の内容につきましては、本日 (平成24年2月7日) 公表の「平成24年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,000	3.2	15,000	35.4	12,000	39.7	6,000	-	23.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、〔添付資料〕4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	268,624,510株	23年3月期	268,624,510株
24年3月期3Q	11,076,122株	23年3月期	11,071,323株
24年3月期3Q	257,551,752株	23年3月期3Q	257,566,414株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

[添付資料]

添付資料の目次

	(ページ)
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
<参考資料>平成24年3月期 第3四半期連結決算情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における世界経済は、欧州金融不安の深刻化や米国景気回復の遅れなどの影響を受け、これまで高い経済成長率を示してきた新興国の成長のスピードに鈍化傾向が見られるなど、景気先行きの不透明感が強まりました。日本経済も、東日本大震災による景気の落ち込みからは着実な回復が見られるものの、円高の長期化やタイの洪水などの影響により、景気先行きの不透明感が払拭できない状況が続きました。

このような事業環境の中、当社グループは平成27年度を最終年度とする中期経営計画を策定し、その実現に向けた取り組みをスタートするとともに、これまでどおり海外での更なるビジネス拡大に向けた活動や、国内での震災からの復興・復旧に向けた設備投資への対応など積極的な事業活動を展開しました。その結果、前年同期と比べ売上高、営業利益とも増加しました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は2,334億24百万円（前年同期比 48億40百万円増）となり、営業利益は93億50百万円（前年同期比 45億52百万円増）となりました。

経常利益は、支払利息19億88百万円及び為替差損10億50百万円等の営業外費用により62億76百万円（前年同期比 44億54百万円増）となり、四半期純利益は、法人税等37億98百万円等により12億15百万円（前年同期は 47億79百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

制御事業

制御事業は、日本市場において、一部に震災からの復興に向けた需要が見られたものの、円高の長期化による設備投資意欲の減退などにより、市場は不透明な状況で推移しました。一方、海外市場では、東南アジア諸国、中国、ブラジル、オーストラリアなど、新興国・資源国の市場で、エネルギープラントや電力プラントなどの需要が堅調に推移しました。これらの結果、同事業の売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は1,929億11百万円（前年同期比 103億51百万円増）、営業利益は111億73百万円（前年同期比 23億36百万円増）となりました。

計測機器事業

計測機器事業のうち測定器ビジネスの市場は、年度後半に入り中国市場で減速感が見られたものの、その他の海外市場が引き続き好調を維持したことや、タイの洪水の影響による国内の特需などに支えられ堅調に推移しました。この結果、同ビジネスの売上高は前年同期と比べ増加しました。また、半導体テストビジネスの市場は、メモリ前工程向けテスト分野において、顧客の設備投資の動きが見られたことから、同ビジネスの売上高は前年同期と比べ増加しました。

しかしながら、計測機器事業全体の売上高は、フォトリソグラフィビジネスからの撤退に伴う減収により、前年同期と比べ減少しました。一方、営業損益は、これまで実施してきた構造改革による固定費及び研究開発費の減少などにより、前年同期と比べ損失が減少しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は260億16百万円（前年同期比 7億36百万円減）、営業損失は14億20百万円（前年同期比 31億57百万円損失減）となりました。

その他事業

当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は144億97百万円（前年同期比 47億75百万円減）、営業損失は4億3百万円（前年同期は 5億37百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において、以下のとおりとなりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,421億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ190億49百万円減少しました。たな卸資産が60億43百万円増加した一方、現金及び預金が75億51百万円、受取手形及び売掛金が92億9百万円、有形固定資産が31億65百万円、投資有価証券が23億75百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

負債合計は2,029億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ130億4百万円減少しました。未払金が71億47百万円、賞与引当金が42億67百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

純資産は1,391億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億44百万円減少しました。利益剰余金が13億46百万円増加し、為替換算調整勘定が57億72百万円、その他有価証券評価差額金が20億41百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は502億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億85百万円、第2四半期連結会計期間末に比べ41億83百万円それぞれ減少しました。

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益53億46百万円に対し、プラス要因である減価償却費89億44百万円、売上債権の減少45億79百万円等と、マイナス要因であるたな卸資産の増加78億12百万円、賞与引当金の減少40億7百万円、法人税等の支払額30億7百万円等の結果、前年同期に比べ38億39百万円収入が減少し、1億70百万円の収入となりました。

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による51億36百万円、無形固定資産の取得による37億12百万円の支出等により、前年同期に比べ2億16百万円支出が増加し、68億84百万円の支出となりました。

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入等により、26億3百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年11月8日に公表した通期連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法によっていましたが、過去2年間の事業構造改革における事業ポートフォリオの見直しにより、使用可能期間にわたり減価償却費を均等配分することが、今後の有形固定資産の利用形態の観点からより適切であると判断し、第1四半期連結会計期間より、主として定額法へと変更しています。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の営業利益は1,183百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は1,203百万円それぞれ増加しています。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

【追加情報】

(研究開発費の取り扱いの変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、研究開発費について、従来、基礎研究活動に係る費用を一般管理費として計上する一方で、製品開発活動に係る費用については、ハードウェア開発と同時並行で生産設計・生産準備活動といった製造活動を行ってきた経緯から、当期製造費用として計上していました。しかしながら、昨今の技術動向の変化により製品開発の主体がソフトウェア開発へと移行していく中で、過去2年間の事業構造改革における事業ポートフォリオの見直しにより、今後の研究開発活動についてはハードウェア開発の占める割合が減少し、製造との一体活動も縮小することが見込まれることから、第1四半期連結会計期間より、当期製造費用として計上していた研究開発費の一部を、一般管理費として計上しています。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は15,187百万円増加していますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は428百万円それぞれ減少しています。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,663	51,112
受取手形及び売掛金	103,492	94,282
商品及び製品	16,477	16,930
仕掛品	8,745	11,801
原材料及び貯蔵品	10,250	12,785
その他	12,682	12,448
貸倒引当金	△3,175	△2,809
流動資産合計	207,136	196,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,927	46,333
その他（純額）	32,174	31,603
有形固定資産合計	81,101	77,936
無形固定資産		
投資その他の資産	30,095	28,592
投資有価証券	31,731	29,356
その他	11,535	10,135
貸倒引当金	△368	△387
投資その他の資産合計	42,899	39,104
固定資産合計	154,096	145,632
資産合計	361,233	342,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,806	26,025
短期借入金	54,258	59,418
未払法人税等	3,270	2,304
賞与引当金	11,526	7,259
未払金	12,828	5,680
その他	41,402	42,955
流動負債合計	152,093	143,643
固定負債		
長期借入金	56,739	53,165
退職給付引当金	2,067	2,030
その他	5,101	4,156
固定負債合計	63,907	59,352
負債合計	216,000	202,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	50,344	50,344
利益剰余金	73,011	74,358
自己株式	△11,001	△11,004
株主資本合計	155,755	157,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,145	103
繰延ヘッジ損益	△137	106
年金負債調整額	△374	△350
為替換算調整勘定	△15,686	△21,458
その他の包括利益累計額合計	△14,053	△21,598
少数株主持分	3,529	3,687
純資産合計	145,232	139,187
負債純資産合計	361,233	342,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	228,584	233,424
売上原価	149,542	134,648
売上総利益	79,041	98,775
販売費及び一般管理費	74,243	89,425
営業利益	4,797	9,350
営業外収益		
受取利息	219	247
受取配当金	444	470
持分法による投資利益	484	286
その他	1,054	974
営業外収益合計	2,203	1,979
営業外費用		
支払利息	2,178	1,988
為替差損	1,807	1,050
その他	1,192	2,014
営業外費用合計	5,178	5,053
経常利益	1,822	6,276
特別利益		
固定資産売却益	143	104
投資有価証券売却益	55	0
移転補償金	131	—
その他	53	—
特別利益合計	383	105
特別損失		
固定資産売却損	2	10
固定資産除却損	178	134
減損損失	125	94
投資有価証券売却損	—	88
投資有価証券評価損	—	0
事業再編損	24	—
事業構造改善費用	2,646	707
その他	522	—
特別損失合計	3,500	1,035
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,293	5,346
法人税、住民税及び事業税	3,460	3,527
法人税等調整額	△253	270
法人税等合計	3,206	3,798
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,500	1,548
少数株主利益	279	333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,779	1,215

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△4,500	1,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,814	△2,062
繰延ヘッジ損益	△103	243
年金負債調整額	45	24
為替換算調整勘定	△6,379	△5,845
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△20
その他の包括利益合計	△8,264	△7,660
四半期包括利益	△12,764	△6,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,816	△6,330
少数株主に係る四半期包括利益	51	218

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,293	5,346
減価償却費	10,187	8,944
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△205	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,133	△4,007
投資有価証券売却損益(△は益)	△55	87
減損損失	125	94
事業構造改善費用	2,646	707
売上債権の増減額(△は増加)	7,562	4,579
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,379	△7,812
仕入債務の増減額(△は減少)	1,540	75
その他	△173	△893
小計	8,822	7,108
利息及び配当金の受取額	1,564	1,847
利息の支払額	△1,786	△2,408
特別退職金等の支払額	△2,192	△3,370
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,398	△3,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,009	170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,549	△3,805
定期預金の払戻による収入	3,110	4,104
有形固定資産の取得による支出	△3,731	△5,136
有形固定資産の売却による収入	384	644
無形固定資産の取得による支出	△4,096	△3,712
投資有価証券の取得による支出	△14	△14
投資有価証券の売却及び償還による収入	98	35
その他	130	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,668	△6,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,497	2,513
長期借入れによる収入	—	420
長期借入金の返済による支出	△24,133	△107
配当金の支払額	△517	△4
その他	△242	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,395	2,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,011	△2,974
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△29,065	△7,085
現金及び現金同等物の期首残高	76,555	57,334
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76	△0
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,566	50,248

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	対前年同期比
制御事業	外部顧客への売上高	182,560	192,911	10,351
	営業利益	8,837	11,173	2,336
計測機器事業	外部顧客への売上高	26,752	26,016	△736
	営業利益	△4,577	△1,420	3,157
その他事業	外部顧客への売上高	19,272	14,497	△4,775
	営業利益	537	△403	△941
四半期連結 損益計算書 計上額	外部顧客への売上高	228,584	233,424	4,840
	営業利益	4,797	9,350	4,552

(注) 1. 「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より、主として定額法へと変更しています。この結果、従来の方法による場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の「制御事業」の営業利益は752百万円増加し、「計測機器事業」の営業損失は310百万円、「その他事業」の営業損失は120百万円それぞれ減少しています。

2. 「追加情報」に記載のとおり、当社及び連結子会社で当期製造費用として計上していた研究開発費の一部を、第1四半期連結会計期間より、一般管理費として計上しています。この結果、従来の方法による場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の「制御事業」の営業利益は407百万円減少し、「計測機器事業」の営業損失は18百万円、「その他事業」の営業損失は2百万円それぞれ増加しています。

(参考) 地域ごとの売上高

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		対前年同期比
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)
日本	92,919	40.6	88,394	37.9	△4,524
アジア	57,369	25.1	63,489	27.2	6,120
欧州	19,617	8.6	20,672	8.8	1,055
北米	15,538	6.8	15,187	6.5	△350
中東	15,498	6.8	18,486	7.9	2,988
その他	27,641	12.1	27,193	11.7	△447
連結売上高	228,584	100.0	233,424	100.0	4,840

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

<参考資料>

平成24年2月7日

横河電機株式会社

平成24年3月期 第3四半期連結決算情報

(単位：百万円)

	H22/12		H23/12		対前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	228,584	—	233,424	—	4,840	—
営業利益	4,797	2.1%	9,350	4.0%	4,552	1.9%
経常利益	1,822	0.8%	6,276	2.7%	4,454	1.9%
当期純利益	△4,779	△2.1%	1,215	0.5%	5,994	2.6%
総資産	352,193		342,183		△10,009	
純資産	144,103		139,187		△4,916	
自己資本当期純利益率	△3.3%		0.9%		4.2%	
1株当たり当期純利益	△18.56円		4.72円		23.28円	
設備投資	8,107		7,646		△460	
減価償却費	10,187		8,944		△1,243	
研究開発費	21,503		19,801		△1,702	
期中平均為替レート						
米ドル	86.06円		78.51円		△7.55円	
ユーロ	112.01円		110.35円		△1.66円	

受注高

(単位：百万円)

	H22/12	H23/12	H24/3 予想
制御事業	200,451	213,050	292,000
計測機器事業	27,706	27,846	41,000
その他事業	19,930	13,227	23,000
合計	248,087	254,123	356,000

売上高

(単位：百万円)

	H22/12	H23/12	H24/3 予想
制御事業	182,560	192,911	272,000
計測機器事業	26,752	26,016	41,000
その他事業	19,272	14,497	23,000
合計	228,584	233,424	336,000

営業利益

(単位：百万円)

	H22/12	H23/12	H24/3 予想
制御事業	8,837	11,173	18,000
計測機器事業	△4,577	△1,420	△3,000
その他事業	537	△403	0
合計	4,797	9,350	15,000